

第三者評価 @ 三宅島

あじさいの里

東京から180kmの別世界

三宅島

東京から南へ約180km。

伊豆諸島のほぼ中央に位置する島で、直径8km、周囲38.5km、面積55.26 km²のほぼ円形をした火山島です。

人口は2,300人強です。

離島の特別養護老人ホーム訪問記

海岸線の様子

評価者活動の魅力

調布から小型機で揺られること約1時間、好天に恵まれ、富士山を眼下に望む快適な空の旅を経て、評価対象の特別養護老人ホームがある三宅島へ。

施設で暮らす島生まれ島育ちの利用者の方々との会話は興味深く、「あなたも老いたらここへ来ればいい」という温かい誘いを受けました。職員の多くは、釣りやダイビングなど島の暮らしを満喫するために移住した人々です。彼らは、塩害による設備交換の早さ、福祉用具の取り寄せに時間がかかる、水は島外から購入しなければならないといった離島特有の苦労を抱えながらも、利用者へのサービスにしっかりと取り組んでいました。多くの施設で人材不足による疲弊が見られる中、この特養では外国人材への生活と言葉の丁寧な支援が行われており、そのおかげか、利用者は穏やかで、職員は生き生きと働いている様子に接し、心から安堵した2日間でした。

評価者としての活動は、このように普段入ることのできない施設を訪れ、時には珍しい土地柄に触れる面白さがあります。経営や介護の経験を活かし、東京都の養成講座を受けて評価活動に取り組んでみたい方、ご連絡をお待ちしています。

私たちと一緒に活動しませんか？

公益社団法人長寿社会文化協会は、東京都の手順に沿った福祉サービスの第三者評価事業を、平成17年（2005年）から600件以上の評価実績を持つ「老舗」の評価機関として行っています。利用者、職員、経営層へのアンケートを評価の中心とし、職員の自由な意見を尊重するため、アンケートは封入形式で回収・集計しています。





三宅島のご神木
迫力の「迷子椎」



小型飛行機でひとっ飛び！
調布から富士山を眼下に、
絶景フライトで非日常の評価旅へ。



バードウォッチングの聖地としても有名な
「大路池」



特別養護老人ホーム
「あじさいの里」

施設の窓から広がる、
開放感あふれる青い海。
利用者様の暮らしを包む絶景。

